

# 上越市三和区 にたんわり 二反割遺跡 現地説明会資料

平成 23 年 8 月 27 日(土)

国土交通省北陸地方整備局高田河川国道事務所  
新潟県教育委員会  
財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

## 1 はじめに

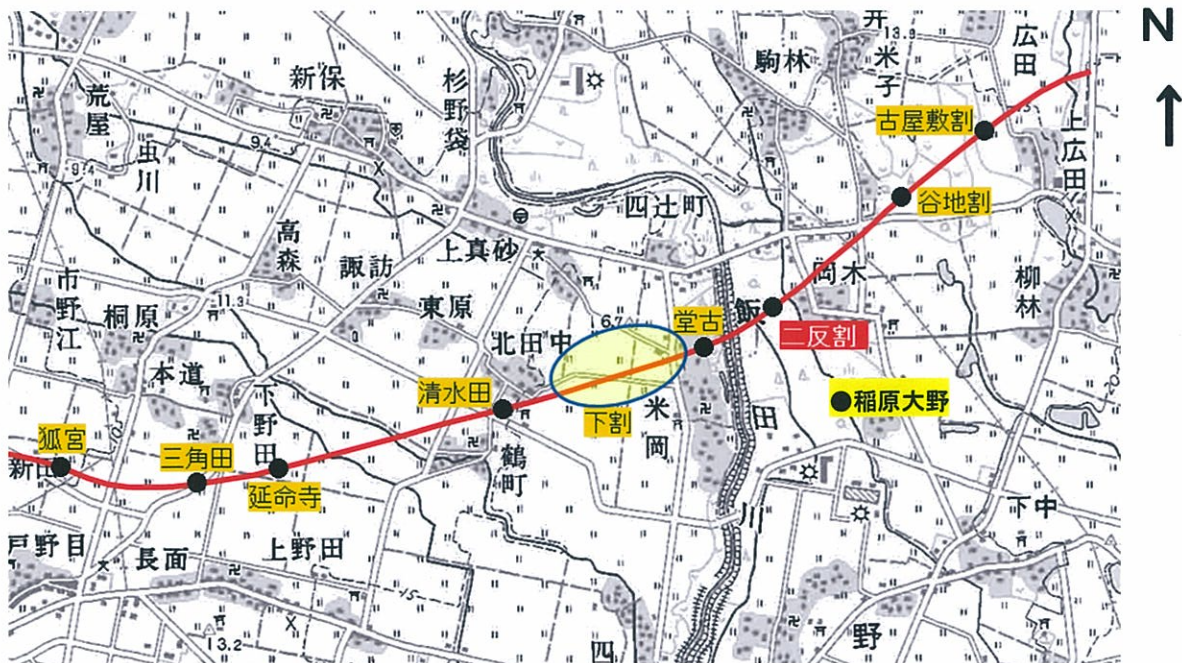
一般国道 253 号上越三和道路は、上越市<sup>てら</sup>～同市三和区<sup>ほんごう</sup>を結ぶ長さ 7.4 km<sup>こうきかく</sup>の高規格道路で、上越市から南魚沼市に至る延長 60 km<sup>かいそく</sup>の快速道路の一部です。

この道路建設に伴う発掘調査は、平成 14 年度から行われています。二反割遺跡は、平成 21 年度の事前調査で発見され、面積 2,450 m<sup>2</sup>を 6 月から調査しています。

## 2 遺跡の位置と立地

遺跡は、上越市三和区岡木字二反割 1,013 番地ほかに所在します。遺跡は高田平野のほぼ中央に位置し、西方には南から北に飯田川<sup>いいた</sup>が流れています。遺跡はこの飯田川沿いの沖積地に立地し、標高は 14m です。

周辺にはこれまでそれほど多くの遺跡は存在しませんでした。上越三和道路建設などに伴う事前調査や発掘調査の結果、多くの遺跡が見つかりました。狐宮遺跡<sup>きつのみや</sup>（門田新田<sup>もんてんしんてん</sup>：奈良・平安時代<sup>なら へいあん</sup>）、三角田遺跡<sup>みつまた</sup>（下野田<sup>しものだ</sup>地内：奈良・平安時代）、延命寺遺跡<sup>えんめいじ</sup>（下野田<sup>しものだ</sup>地内：古墳・飛鳥・奈良時代<sup>こふん あすか</sup>）、下割遺跡<sup>しもわり</sup>（米岡<sup>よれおか</sup>地内：古墳・奈良・平安・鎌倉・室町時代<sup>かまくら むろまち</sup>）は、上越三和道路建設に伴い発掘調査した遺跡です。このほか三和西部産業団地造成に伴い見つかった大野古墳群を含む稲原大野遺跡などがあります。



遺跡の位置と予定路線